様式Ｍ-1

共同利用（特定機器利用）申請書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　月　　日

東京大学地震研究所長　殿

〔代表者〕

職　名

所属機関・部局名

住　所　〒

電　話

E-mail

下記のとおり特定機器の利用について申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |
| 申請の種類※いずれかにチェックしてください | □公募申請（2か月以上）※利用年度の前年度に実施する公募へ要申請（例年7月末頃締切） | □臨時貸出申請（2か月未満）※利用年度内で随時申請可能 |
| 機器名称（共同利用コード）および台数（複数機器の組合せの場合はセット数） | （共同利用コード：　　　　　　 ）台（セット）数 |
| 利用期間 | 年　　月　　日　～　　　　　　年　　月　　　日　　　　　　　 |
| 研究目的及び共同利用内容（使用場所・用途・利用形態等） |  |
| 研究課題参加者（学生を含め、該機器を使用する予定の者を列挙すること）※大学院生が使用する場合も、指導教員等教員が代表者として申請してください。 | 氏名 | 所属 | 職名 |
| 備　　考（前回の申請に続けて、同じ機器を継続して利用したい場合は、その旨も併せて 記載すること） |  |

**次のページに謝辞等についての注意事項が記載してありますので、必ずご確認ください。**

本研究所の共同利用機器を用いて行われた研究に関する論文等を発表する場合は、謝辞に東京大学地震研究所共同利用を利用した旨を記載することが、義務となります。

※Acknowledgment(謝辞)に、地震研究所より助成を受けた旨を記載する場合には「20XX-X-XXの共同利用コード」を必ず含めてください。

（記載例：共同利用コード｢2022-M-01｣）

【英文】：下のいずれか

・This study was supported by ERI JURP 2022-M-01 in Earthquake Research Institute, the University of Tokyo.

・This study was funded by Earthquake Res.Inst., the University of Tokyo, Joint Research program 2022-M-01.

【和文】：本研究は東京大学地震研究所共同利用(2022-M-01)の援助をうけました。

また、その別刷（PDF、配布元URL情報でも可）やデータなどを、本研究所の研究支援チーム（共同利用担当）へ必ず提出してください。